



関 西 支 部 会 報

KANSAI

三医会関西支部会事務局

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-20-22
 (医) 杉本眼科 杉本 浩一
 TEL 06-6624-1985
 FAX 06-6624-6291
 E-Mail oph-koichi@osaka.email.ne.jp



三医会 会長 川原田 力也 (S45年卒)

三医会関西支部の皆様へ

関西支部の先生方にはばく健勝にて、活躍の事とお慶び申し上げます。平素は三医会活動にご理解とご協力を賜り誠に有り難うございます。

再度の関西支部長をお引き受けの杉本浩一先生には、医会総会の議長をお願いしたり、関東支部、東海支部との連携並びに交流にご尽力を頂いておりますこと、この紙面をお借りして御礼申し上げます。

私達の母校の三重大学医学部の前身である三重県立医学専門学校が1944年4月15日に開校し、本年4月15日で創立70周年を迎えました。三重大学医学部が「三重大学医学部創立70周年記念事業」を実施されるに際し、三医会と公益財団法人三重大学医学研究振興会が共催としてお手伝っています。既に11月16日(日)の記念式典と講演会並びに懇親会のご案内とご寄付のお願いをお手元にお送りしていますので、ご支援、協力よろしくお願ひ申し上げます。

さて、小生が皆様のご協力を頂きながら三医会会長として10年間が過ぎておりますが、その間いろいろな改革をさせて頂いてきました。

① 平成19年4月から医学部入学と同時に三医会に入会する。
 ② 平成23年6月から他大学医学部出身の先生方で、三重大学医学部で教鞭を執られたり、研究や研修をされている方々の三医会入会を可能として三医会の裾野を広げています。

また、今年で第12回目の医学部教授会執行部との協議会を通して医学部との連携を推進しています。

関西支部の先生方との検討課題ですが、全国三医会会員の先生方との連携推進のために、西日本各地の先生方（中国地方50名、四国地方27名、九州・沖縄地方60名）にも参加頂ける場所づくりを考えています。（平成26年10月記）

三重大学新病院における 最先端のCT・MRI・PET-CT検査

三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座放射線医学

佐久間 肇 (S60年卒)

このたびは三医会関西支部総会で講演させていたく機会を与えていただきありがとうございました。皆様に心より感謝申し上げます。

三重大学医学部附属病院では平成24年1月に新病棟（Ⅰ期工事）が開院し、平成27年の新外来棟（Ⅱ期工事）オープンに向けて工事が進んでいます。現在当院で

平成27年関西支部 学術講演会集会・情報交換会の ご案内

開催日時

平成27年2月1日(日)
 午後2時～5時

開催場所

ホテルクラウンパレス神戸
 (JR神戸駅前)
 神戸市中央区東川崎町1-3-5
 TEL: 078-362-1155

母校の近況報告や講演会は三医会会長川原田力也先生（S45年卒）、脳神経外科 鈴木秀謙教授（H2年卒）、神戸大学 DM・内分泌内科 福岡秀規先生（H11年卒）にお願いしています。日常診療に参考になるお話を拝聴し、三医会の会員同志の友好と親睦を深め合おうではありませんか。何かとご多用かと存じますが是非ご出席の程お願いします。



は、放射線診断専門医16名、放射線治療専門医3名、専門医を目指している若手放射線科医13名が放射線診療に携わっています。CTやMRI、PET-CTなどの画像診断の進歩は目覚ましく、エビデンスに基づいた適切な診断・治療を行ってゆく上でその役割はますます重要なっています。当院では最新の2管球CTや320列CTを含む6台のCT装置を活用し、逐次近似再構成などの技術を活用して放射線被曝の低減を図りながら、全例に三次元CTデータ収集を行って精度の高いCT診断を実施しています。特に心臓CTについては、2管球CTを利用して超低被曝の冠動脈CTアンギオを実施するとともに、負荷心筋血流CTによる心筋虚血の総合的評価を実施し、従来の冠動脈CTと負荷心筋シンチグラフィを組み合わせた方法よりも放射線被曝を低減しながら優れた診断能を得ています。MRI検査は3テスラ装置3台と1.5テスラ装置2台を用いて行っています。心臓MRIは、シネMRIによる心機能と局所壁運動の評価、遅延造影MRIによる心筋梗塞と心筋バイアビリティの診断、負荷心筋血流MRIによる心筋虚血の診断、冠動脈MRAによる冠動脈狭窄の診断など、心臓の機能と形態を総合的に行える特長を持っており、当施設は日本・アジア地域における心臓MRIの拠点施設としての役割を果たしています。また、当大学病院のもう一つの特長としてサイクロトロンを備えたPET-CT部門を持つことが挙げられ、がん診療に広く用いられている¹⁸F-FDGだけでなく¹¹C、¹³N、¹⁵OなどのPET核種を用いた検査が可能です。学内に動物実験用PET-MRIの導入も予定されていることから、三重大学病院の臨床研究・トランスレーショナルリサーチの発展に貢献してゆきたないと考えています。津に来られる際には皆様お気軽に立ち寄りください。



支部長就任の一挨拶（H26年2月）

杉本 浩一 (S42年卒)

西支部の活動状況の報告を行い、相互の活動に有益なポイントを取り入れるように心掛けています。関西支部に於いては例年2月の総会の開催地区は主に大阪、兵庫、京都の利便性のよい場所で輪番に行っていますが、主管して頂くことによつて各地区の会員間の相互の一体感や新たな会員の所在の発掘にも繋がり各人の緊密度が増強することを期待しています。

7月頃には関西地区に於いて「前期研修」を開始された先生方との交流（歓迎会）を推進することによつて関西支部の活動を理解して頂く格好の会合になればと思ってります。大変僭越なことですが経時的なことをも勘案し今年は一部役職者の交替を行いました。新しく就任して下さった先生の活躍に期待したいと思います。地区での総会の型も一人でも多くの会員にご参加して頂くために時代の流れに沿つて便宜的な形式に変わつて行かざるを得ないのが現状であることをご覧察頂ければ幸甚かと存じますので、今後とも旧に倍する皆様方のご支援をご協力の程を宜しくお願ひ申し上げます。



鶴ヶ丘東診療所 東 純哉（日）
26年度三医会賞を受賞し

この度は三医会賞を受賞し、大変光栄に存じます。私は平成9年に卒業後、当時の大阪大学第四内科（加齢医学講座）に入局しました。その後、大阪大学医学部附属病院での1年間の臨床研修を経て、大阪府立成人病センター第一内科（循環器内科）に赴任しました。当時のセンターは冠動脈完全閉塞病変をはじめとする複雑病変に対するカテーテルインターべンションをアグレッシブに施行する施設で、教科書的な治療適応を越えて新しい治療基準を作っていくという雰囲気に満ちており、大学で研修を積んだ直後の私にはかなり強いインパクトがありました。

平成13年に大阪大学老年・高血圧科に帰局しましたが、実際に成人病センターでの経験を生かすべく、遺伝子治療の臨床試験を行うために新設された臨床遺伝子治療学講座にも所属しました。当時は難治性閉塞性動脈硬化症に対する肝細胞増殖因子（HGF）遺伝子による血管新生治療の第1／2相臨床試験の最中で、この一連の臨床試験は順調に進行し、2010年には国内第3相試験を終え、現在は国際共同試験第3相試験が計画されています。

わべ大動脈網膜下血栓心不全で死んだ。HGF-Tgマウスでは、野生種に比べて有意に心不全による死亡、心筋線維化が抑制され、冠動脈梗塞の α -SMA 暗-筋線維芽細胞の出現率も低く、心筋細胞の心筋化や心拡大、心機能低下を改善する作用がある。
(Azuma J, Hepatocyte Growth Factor Reduces Cardiac Fibrosis by Inhibiting Endothelial-Mesenchymal Transition. Hypertension. 2012 May; 59 (5): 958-65.)
この取扱いは上記論文の結果に基づいています。

大阪府立急性期総合医療センターでの初期研修

田中
伯(H26年卒)

平成26年度卒業生の田中伯です。働きだしてから早くも半年が経ちました。半年経って感じるのは医者という仕事の大変さと厳しさと奥深さです。この度は、大阪府立急性期総合医療センターでの初期研修について僭越ながら報告させていただきます。

7月頃には関西地区に於いて「前期研修」を開始された先生方との交流（歓迎会）を推進することによって関西支部の活動を理解して頂く格好の会合になればと思っております。大変僭越なことですが経時的なことをも勘案し今年は一部役職者の交替を行いました。新しく就任して下さった先生の活躍に期待したいと思います。地区での総会の型も一人でも多くの会員にご参加して頂くために時代の流れに沿つて便宜的な形式に変わつて行かざるを得ないのが現

わが家の庭に咲いたさるすべりの花

β 1 ド刺激か α -SMA 閻性

の筋線維芽細胞に上皮間葉転換しますが、HGFをTGF- β 1とウス大動脈縮窄圧迫心不全モデルでは、HGF-Tgマウスではcollagen 3の発現もHGF濃度依存的に抑制されました。またHGFは心線維化や心拡大、心機能予後を改善する効果があります。(Azuma J, Hepatocyte Growth Factor Reduces Cardiac Fibrosis by Inhibiting Endothelial-Mesenchymal Transition. Hypertension. 2012 May; 59 (5): 958-65.)

「」の取扱を機にこれまでの治療・研究に研鑽したこと眼に見えます。

今後もよろしくお願い申します。

大阪府立急性期総合医療センターでの初期研修

田中 伯 (H26年卒)

平成26年度卒業生の田中伯です。働きだしてから早くも半年が経ちました。半年経つて感じるのは医者として仕事の大変さと厳しさと奥深さであります。この度は、大阪府立急性期総合医療センターでの初期研修について僭越ながら「報知」をさせていただきます。

当病院の初期研修の特徴は府内でもしっかりと高度救命救急医療センターであるところの特徴から、重症患者の診療にかかるところができるところといえます。当病院の当直には、次救急を手伝う当直があります。実際初期研修医にそのような場面で手伝ふるところほとんどありませんが、上級医の重症患者へのアプローチを「」の目で見るところができるのもとてもいい経験になります。もちろん次救急を手伝う当直以外にも、次救急や2次救急の患者をみて面接もあつてその面接は2年目の研修医で、救急当直のレジデンント以上の先生と3人で担当し、そこでは実際に入院させるかどうかやどのような薬を処方するか等の判断を自分でします。もちろんわからなったときは上の先生に相談でありますが最終的な判断は自分にかかりていますのでとても責任がありますがとても勉強になります。

いろいろの先生が救急でよく遭遇したりする疾患や気を付けておくべきことを講義してください。そこで勉強になります。

また当病院には総合内科があり、その科は感染症をおもに専門としており抗生素等の使い方などはどの科に行つても必要な知識であるのでとても勉強になります。

また研修医が阪大からのたすき掛けの人も含めて1学年26人もおり研修医全員あわせると52人いるので病院外でも遊びに行けたり、また互いに刺激しあつたりしてとても有意義な日々を過ごしております。

この病院で初期研修できる幸せをかみしめながら残りの初期研修を日々研鑽を積み重ねて医師として成長していくたいと思っております。

当院の救急診療科は高度救命救急センターであり、多発外傷など重篤な症例も多数経験できます。ルート確保や採血、Aライン、挿管やCVP挿入など積極的に手技にも関わることが出来ます。緊張感のある現場であり、怒号が飛び交う事もありますが、大変貴重で刺激的な経験が出来ます。医師としてはまだ未熟で、分からぬ事だらけの毎日ではあります、熱気溢れた病院で日々を過ごしております。初心を忘れず、謙虚な姿勢をもつて日々精進して参りたいと思っております。

平成26年度卒業生の竹内恵里子です。三重県を離れ、田中先生と共に大阪府立急性期総合医療センターで研修生活を始めて半年が過ぎようとしています。こうして会報を通じて三医会の先生方と関わる事を大変光栄に思っています。私は神経内科を志望科として、4月から神経内科を3ヶ月、その後3ヶ月救急診療科で研修させて頂きました。最初は日常業務を覚えるだけで精一杯の日々でしたが、上級医の先生方は大変熱心で優しい方ばかりで、日々助けて頂きながら研修させて頂いております。研修医同士も大変仲が良く、仕事で助け合うこともあります。悩みを相談しあったり、気分転換に遊びに出かけることもあります。

春・桜 大阪府立急性期総合医療センター

また研修医が阪大からのたすき掛けの人も含めて1学年26人もおり研修医全員あわせると52人いるので病院外でも遊びに行けたり、また互いに刺激しあつたりしてとても有意義な日々を過ごしております。

この病院で初期研修できる幸せをかみしめながら残りの初期研修を日々研鑽を積み重ねて医師として成長していくたいと思っております。

この4月から市立池田病院で前期研修を始めました。大阪出身（四天王寺高校卒）でしたので思い切って大阪で研修をすることにしました。三医会関西支部から7月12日（土）午後6時からJR大阪駅付近の「ドーバー・シカメント」8階「わいわい酒家・楽」というレストランで開催するから出席して頂きたいという心温まる連絡を貰いました。私は現在産婦人科の研修をしていて忙しいのですが、何はさしあいても参加しなくてはと同期の心友達と相談して決めました。関西地区には今年度10名が各病院で研修を行っていますが、当日は5名が出席出来ました。会場に行つて見ますと久振りに顔を会わせたクラスメイトの他に次年度関西地区での研修を予定している5名の後輩達も参加していて、あとにやつてくるかも知れない後輩達のためにもしっかりと研修しなければと改めて思いました。

「三医会」会員同志ですので初対面でも初めからお互いに安堵感があつてすぐにうち溶けた雰囲気になつて研修を開始した5名の自己紹介や各研修病院の状況などを報告しました。次に研修2年目の2名の先輩が参加しておられましたがその先生方は「後期研修」に向けての心意気をお話して頂きました。関西地区のOB・OGの先生方は9名参加して下さつて「前期研修」で大切なことは一年上の研修医から様々な情報を教えて貢献して下さいました。研修2年目の2名の先輩が参加しておられましたがその先生方は「後期研修」に向けての心意気をお話して頂きました。関西地区のOB・OGの先生方は9名参加して下さつて「前期研修」で大切なことは一年上の研修医から様々な情報を教えて貢献して下さいました。

市立池田病院 櫻井 美帆子（H26年卒）



堵感があつてすぐにうち溶けた雰囲気になつて研修を開始した5名の自己紹介や各研修病院の状況などを報告しました。次に研修2年目の2名の先輩が参加しておられましたがその先生方は「後期研修」に向けての心意気をお話して頂きました。関西地区のOB・OGの先生方は9名参加して下さつて「前期研修」で大切なことは一年上の研修医から様々な情報を教えて貢献して下さいました。

三医会関西支部役職者一覧表 (敬称略)

●支部長 杉本 浩一(S42年)	●監査役 石原 政芳(S40年)
●副支部長 (各府県1名)	室生 卓(S61年)
大阪府 薩山 充(S52年)	●勤務医会代表の理事 岡田 行功(S49年)
京都府 志馬 裕明(H5年)	林田 孝平(S50年)
兵庫県 深沢啓二郎(S61年)	斎藤 徹(S52年)
奈良県 西川 勝仁(S53年)	習田 龍(H7年)
和歌山県 中村 光作(S55年)	豊川 貴弘(H10年)
滋賀県 山形 高志(S51年)	武内 真有(H16年)
●専務理事	●開業医会代表の理事 細野 進(S51年)
総務 宇野 敦彦(H5年)	高澤 正志(H8年)
会計 豊川 充(H5年)	猪尾 芳弘(H7年)
厚生 小川 佳成(S63年)	陳 慶祥(H7年)
IT 譜久山 仁(H10年)	西原 承浩(H1年)
辻川 薫(H5年)	小野 義春(H5年)
	●名誉支部長 杉山 茂男(S24年)



関西支部総会 (平成26年2月2日 於 ホテルグランヴィア大阪)